

## 令和4年第3回半田市議会定例会総務委員会委員長報告書（補正）

（令和4年3月9日）

当総務委員会に付託された案件については、3月1日、午後1時40分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第4号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

地方創生臨時交付金の充当先について、子育て応援臨時交付金事業で所得制限により非該当になった方に半田市独自で給付した分以外の8事業の内容とその目的は何か。とに対し。

当該交付金はコロナ対策であれば自由度が高く使用できるものです。情報システム運用事業、地域振興券事業、民間保育所運営事業、地域型保育事業、学校生活支援事業、小学校情報機器整備事業、中学校情報機器整備事業、学校保健体育事業の8事業に4億5,784万1千円を充当しました。とのこと。

充当事業の決定までの考え方はどのようなか。とに対し、

当該交付金は、市への配分が年度の途中で追加されるなど、年度当初での額の確定が困難であるため、市として、都度、必要と判断した事業に充てていくべきと考えています。まずは当初予算で対応している事業のうち、国、県の補助のない事業に対し優先順位を判断し充当しています。とのこと。

今回の補正予算で財政調整基金に17億3千223万円を積み立てているが、この時期に迅速にコロナ対策事業を実施する考えはなかったのか、また、当該基金の市としての必要額など基金にかかる市の考え方はどのようなか。とに対し。

現在、市として、必要なコロナ対策は躊躇なく実施していると考えています。今回、必要額を上回る余剰金が生じたので、いったん財政調整基金に積み立て、令和4年

度以降コロナの収束が見えない中で、必要な事業に対し基金を活用し実施していきます。当該基金の必要額を45億程度と考えており、それに加えて半田病院の取り壊し費用等の積み立ても含め、中長期的な方向性は持っています。とのことでした。

その後、討論を省略し採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり可と認めることに決定しました。

次に、議案第7号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

今回の補正は駐車場利用の減少によるものだが、減少した台数は把握しているか。また、コロナ禍を理由としているが、その他の理由はないと考えているのか。とに対し。

一般利用では、コロナ禍の影響を受けていない令和元年度が2万8千151台に対し、令和3年度は約1万1千台と見込んでおり、約1万7千台の減少です。コロナ禍以外の理由もあるのかもしれませんが、確たる情報もなく、コロナ禍での行動自粛等により雁宿ホール利用者を始め市民の外出機会が減少したためと考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり可と認めることに決定しました。

次に、議案第8号及び議案第11号の2議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。